

平成24年度 地震対応図上型防災訓練 実施計画

1. 訓練目的

今世紀前半の発生が危惧されている「南海トラフの巨大地震」を想定した図上型防災訓練を実施することにより、地震発生時の初動期における災害対策本部が行うべき状況判断（意思決定）と役割の確認や応急対策活動上の問題点・課題を抽出するとともに、本市の災害対応能力の向上を図ることを目的とする。

また、今回の訓練では、東日本大震災の教訓を踏まえ、停電状態を想定した対策本部の設置や通信制約下での連絡手段を活用した訓練も実施する。

2. 実施日時

平成25年 2月12日（火） 13時30分～16時00分

3. 訓練会場

市役所本館 5階 本部室（災害対策本部）
本部会議室（災害対策本部会議）

4. 訓練参加機関・参加者

【プレーヤー部】松山市災害対策本部

災害対策本部長、副本部長、本部長付、本部員及び災害対策本部事務局員
88名

【コントローラー部】統括係、状況付与係

四国地方整備局松山河川国道事務所、松山地方气象台、陸上自衛隊第14特科隊
愛媛県、松山東・西・南警察署、市職員 32名

5. 訓練実施要領

（1）訓練想定

平成25年2月12日（火）13時30分 南海トラフを震源としたM9.0（市内最大震度6強）の地震が発生。

大きな揺れにより、市内各地で家屋の倒壊や道路の損壊等で多くの人的・物的被害が発生するとともに、瀬戸内海沿岸に大津波警報が発表される。

（松山市最大津波高3.5m）

（2）訓練時間

地震発生から13時30分から15時30分（2時間）

(3) 訓練方式

①「図上シミュレーション方式」

実際の災害時に近い場面を設定して、コントローラーから電話や状況付与票等で付与される災害状況を、プレーヤーである災害対策本部が収集・分析・判断するとともに、対策方針を検討するなどの災害対処活動を図上で行う。

②「ブラインド方式」

事前にシナリオをプレーヤーに明かさない方法で実施する。

(4) 主要訓練項目

- ① 地震発生直後の市及び関係機関等が連携した初動対応
 - ・情報の収集・処理（整理・分析・伝達）及び情報の共有
 - ・優先順位に応じた応急対策の検討
 - ・防災関係機関等との連絡調整
- ② 災害対策本部事務局内の連携要領
 - ・災害対策本部及び災害対策本部事務局の運営状況検証

(5) 東日本大震災の教訓を踏まえた訓練内容

- ① 停電状態での災害対策本部の設置（開始10分間）
- ② 通信制約下の連絡手段の活用（開始30分間）
- ③ 大津波警報発表時の対策方針の決定（標高マップ使用）

6. 訓練スケジュール

13:25	訓練事前放送
13:30~	訓練開始（地震発生）
13:35	第1回災害対策本部会議（所要時間5分程度）
14:30	第2回 " （所要時間15分程度）
15:30	訓練終了
15:30~16:00	全体討議、訓練講評・挨拶
16:00	終了